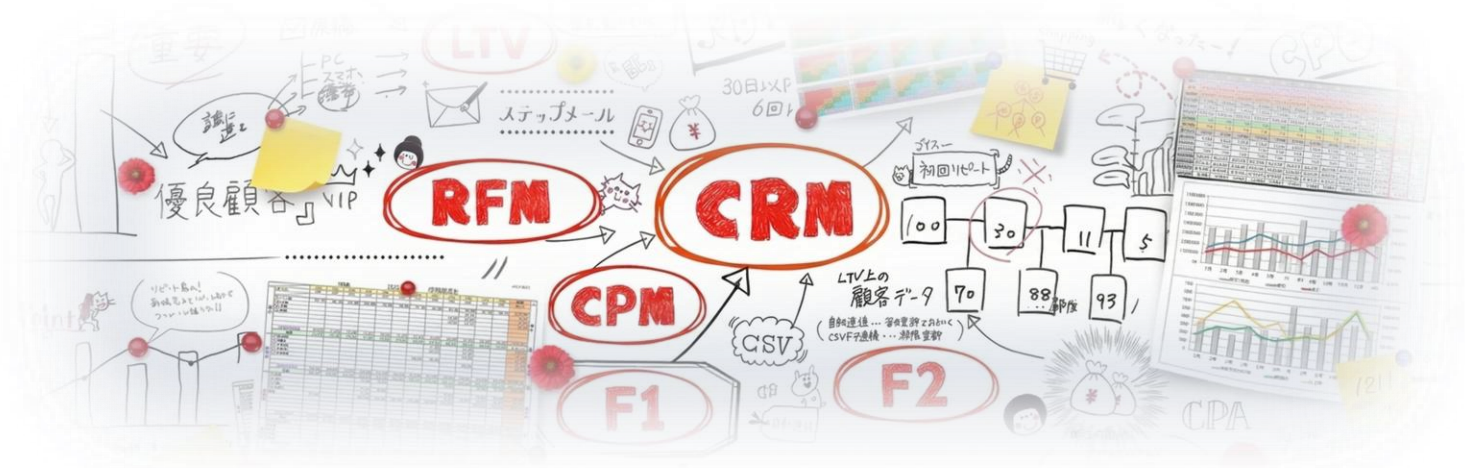
LTV-X

2027年３月期第２四半期
決算説明資料

株式会社LTV-X（証券コード：655A）｜2026年11月13日



2027年３月期
第２四半期業績概要

2027年３月期　第２四半期業績ハイライト

第２四半期決算概要

■第２四半期累計期間における売上高は248百万円（前年同期比17.5%増）となり、前年の成長を継続しております。また、営業利益は90百万円（前年同期比25.6%増）、経常利益は91百万円（前年同期比25.9%増）、当期純利益は59百万円となっております。

（単位：百万円）

	2026年３月期 第２四半期実績	2027年３月期 第２四半期実績	前年差	前年比
売上高	211	248	+36	+17.5%
営業利益	72	90	+18	+25.6%
営業利益率	(34.2%)	(36.5%)		
経常利益	72	91	+18	+25.9%
当期純利益	48	59	+11	+24.2%

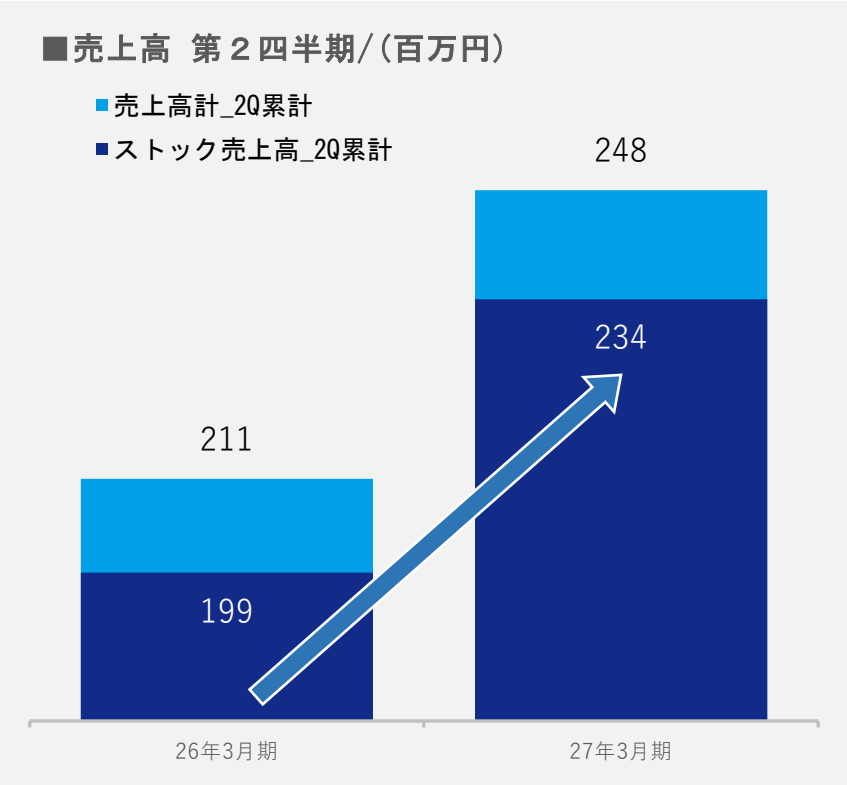
	2026年３月期	2027年３月期 第２四半期実績	前期末差	前期末比
総資産	460	513	+53	+11.6%
純資産	391	451	+59	+15.3%
自己資本比率	84.9%	87.8%	+2.9pt	

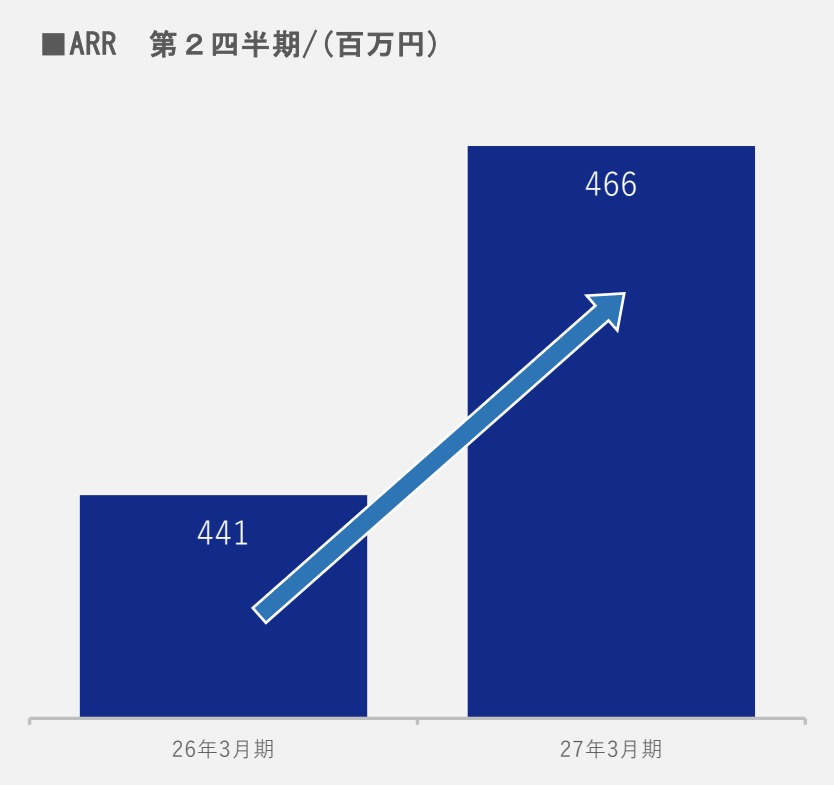
© LTV-X Inc. All Rights Reserved.

2027年３月期　第２四半期業績ハイライト

第２四半期業績指標推移

■ストック売上高は、新規導入者数の増加、顧客単価の上昇及び既存顧客のアップセル等が寄与し、前年同期比34百万円増収の234百万円（前年同期比17.6%増）、ARRは466百万円と順調に積み上がり、売上全体の9割超、事業の成長と安定の基盤となっております。





© LTV-X Inc. All Rights Reserved.

2027年３月期　第２四半期業績ハイライト

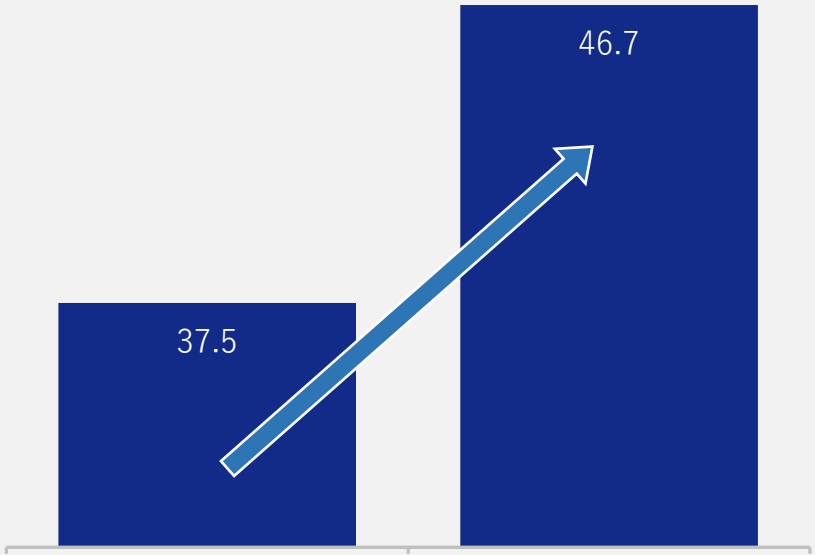
第２四半期業績指標推移

■生産性の重要指標である一人当たりARRは46.7百万円（前年同期比24.5%増）。

■生産性の重要指標である一人当たり営業利益は1,331千円（前年同期比13.3%増）。

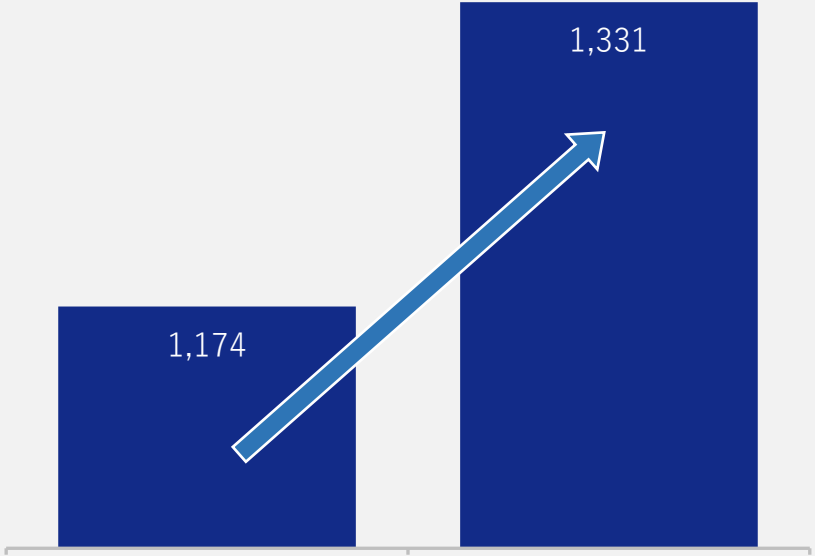
■一人当たり(ARR)/年：百万円

第２四半期　※ 期末時点の直近3カ月平均の1人当たり売上高（ARR）



■一人当たり営業利益/月：千円

第２四半期　※期末時点の直近3カ月平均の1人当たり営業利益



© LTV-X Inc. All Rights Reserved.

2027年３月期　第２四半期業績ハイライト

（単位：百万円）

	2026年３月期 ２Q実績	2027年３月期 ２Q実績		
			前年差	前年比
売上高	211	248	+36	+17.5%
売上原価	32	37	+5	+16.4%
売上総利益	178	210	+31	+17.7%
販売費及び一般管理費	106	119	+13	+12.3%
営業利益	72	90	+18	+25.6%
経常利益	72	91	+18	+25.9%
税引前当期純利益	72	91	+18	+25.9%
法人税等合計	24	30	+5	+22.8%
当期純利益	48	59	+11	+24.2%

■売上高
新規契約の獲得継続、既存顧客の単価向上、ストック収入が増加し、当第２四半期累計期間における売上高は248百万円（前年同期比17.5%増）

■販売費及び一般管理費
売上増加による代理店手数料が逓増

© LTV-X Inc. All Rights Reserved.

2027年３月期　第２四半期業績ハイライト

（単位：百万円）

	2026年３月期	2027年３月期第２四半期実績	前期末差	前期末比
資産合計	460	513	+53	+11.6%
流動資産	396	450	+53	+13.5%
固定資産	63	63	0	▲0.8%
負債合計	69	62	▲6	▲9.6%
流動負債	69	62	▲6	▲9.6%
固定負債	0	0	－	－
純資産	391	451	+59	+15.3%
株主資本	391	451	+59	+15.3%

■流動資産
売上高の伸長に伴う預金・売掛金の増加

■流動負債
未払法人税の支払いにより減少

■純資産
自己資本比率は87.8%
（前期末84.9%）

© LTV-X Inc. All Rights Reserved.

事業遂行上の主要なリスク

本記載は、有価証券届出書の「事業等のリスク」に記載の内容のうち、主なリスクを要約したものです。
その他のリスクについては、有価証券届出書の「事業等のリスク」をご参照ください。

主要なリスクと対応策	発生可能性	影響度
【リスク】当社のサービスはインターネット経由で提供されており、サービス基盤は社内外のネットワークやシステムに依存しております。例えば自然災害や事故等により、電力供給の停止等の予測不可能な様々な要因により、ネットワークやシステムが停止した場合には、サービスを提供することが不可能となる場合があります。 **【対応方針】** 当社では、前述のような様々な状況下でも安定的にサービスを提供するため、サーバー設備の増強やバックアップ体制を整備しております。	中	大
【リスク】当社がサービスを提供するインターネット業界においては、新技術の開発及びそれに基づく新サービスの導入が頻繁に行われ、変化の激しい業界となっております。 **【対応方針】**当社は、技術革新や新しいトレンドには柔軟に対応していく必要があると考えているため、役職員が主体的に最新の技術動向や環境変化についての情報収集を支援する体制を整えているほか、優秀な人材の獲得及びリスキリング支援といった社員教育の拡充にも取り組んでおります。	中	中
【リスク】当社の売上高は、主力サービスである「ＬＴＶ－Ｌａｂシリーズ」に依存したものとなっております。2026年３月期においては全体の売上高の70%を超えております。当該リスクが顕在化する可能性の程度や時期を正確に予測することはできませんが、市場環境等の変化により「ＬＴＶ－Ｌａｂシリーズ」の売上高が著しく減少した場合、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。 **【対応方針】**主力サービスの安定供給を図るとともに、継続的に新たなシステム開発を行うことで、提供プロダクト・サービスの多角化を図り、ストック収益の拡大、特定のサービスに依存しないビジネスモデルの構築を推進し、リスクを分散することに注力してまいります。	低	大
【リスク】当社は、ジャストウェア株式会社への外注依存度が高い状態にあり、2026年３月期においては開発全体の84.4%を占めております。ジャストウェア株式会社の業績悪化・契約解除等、他の理由で契約が終了又は不利な変更があった場合、当社業績に影響を及ぼす可能性があります。 **【対応方針】**当社サービスの開発・保守等を行うジャストウェア株式会社には、システム構築に関するノウハウが蓄積されており、現状は開発効率およびコスト面において継続的な取引が最適であると判断しております。また、ジャストウェア株式会社と適切な業務委託契約を締結し、業務委託料をレベニューシェアとすることで、当社サービスの拡大が同社の売上拡大にも寄与できる体制となっており、相互に成長期待が持てる体制及び関係性を構築しております。一方で、ソースコードは当社が管理しており、他開発会社への変更は可能であります。必要に応じて、外注開発先をマルチ化して、リスクの軽減を図ってまいります。	低	大

© LTV-X Inc.

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

© LTV-X Inc.